

令和6年度 第1回 高石市環境審議会 議事録

【開催日時】 令和6年12月24日（火） 午前11時から開催

【開催場所】 高石市役所 本館2階 会議室202

【出席委員】 委員16名中12名の委員が出席され開催いたしました。

橋本 征二（会長）	水谷 聡	和田 晃
向井 太志	明石 宏隆	久保田和典
奥田 悦雄	永山 誠	若崎 孝子
東口 正一	藤田 政明	竹元 晶子

（以上委員12名）

【欠席委員】 吉田 長裕 山内 和彦 田代 保蔵 田中 博

【傍聴者】 なし

【日 程】 議題（1）高石市ゼロカーボンシティの実現に向けた地域脱炭素計画の進捗状況について

議題（2）その他

【確認事項】 議事録署名人には、向井委員と竹元委員が指名された。

【報告事項】 事務局より、下記事項について報告を行った。

- ・高石市のCO2排出量の推移について
- ・排出量推計手法について
- ・各部門の取り組みについて
 - 産業部門：企業の取り組み、実際のCO2排出量について他
 - 業務・家庭部門：太陽光発電共同購入事業について他
 - 運輸部門：大阪府内自治体のEV普及率について他
 - 廃棄物部門：自治体新電力について他
- ・「高石市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」へ「高石市ゼロカーボンシティの実現に向けた地域脱炭素計画」の内容（再生可能エネルギー導入量目標他）を反映することについて

【質疑応答】 議題（１）高石市ゼロカーボンシティの実現に向けた地域脱炭素計画の進捗状況について

（会 長）地域新電力からの電力調達となると入札は不要になるのか。

（事務局）地域新電力会社と市公共施設が契約し電気を送電することになるため不要となる。
ごみ発電というベース電源が確保されているため安定した供給が可能になる。

（会 長）泉北クリーンセンターの発電余剰電力では不足する電力について、市場から電力を調達することになると思うが、市場から調達する電力は価格に変動があると事業に影響があるのではないか。

（事務局）炉が停止したり定期修理等で発電ができなくなったりした場合は市場から電気を調達し、公共施設へ供給する。市場から調達する電力の価格については変動があり、市場から調達する電力は価格が高い場合もあるため、影響が出る可能性もある。

（会 長）泉北クリーンセンターの発電余剰電力で、対象となる全ての公共施設の電力供給はまかなえているのか。

（事務局）公共施設に供給を行い、まかなえている状況である。炉が停止等した場合には市場から調達を行う。

（委 員）高石市の温室効果ガス排出量は、大阪府の製造業業種別CO2排出量と大阪府と高石市の業種別製造出荷額の関係から排出量を割り出したりしているため、企業の努力が排出量に反映されないとのことだったが、他方で高石市の企業が実際に排出している温室効果ガスの排出量も説明でわかった。企業が実際に排出している数値をどのように把握し、活用するのか。

（事務局）各部門においてCO2排出量を計算する式が環境省から示されており、それを用いて地域脱炭素計画、高石市地球温暖化対策実行計画についてもCO2の排出量を計算した。しかし、その計算方法では例えば企業が燃料転換をした場合でも、CO2がどれだけ減ったかの実質的な量の計算はできない。我々としては特定事業所排出者がCO2排出量を報告する義務があるため、環境省のHPで公開されている数字を把握しているところである。本計画の目標の数値については環境省から示されている計算式を使用しているため、本計画では引き続き環境省の計算式を使用しつつも、企業の努力についてはHP上で公開されている数値で把握していきたい。

（会 長）地域脱炭素計画もフォローできる特定事業所排出者は計画に織り込み、それ以外の事業者は環境省の推計式を使用するような形にし、もう少し実態を反映させるような計画に修正することを検討されてはどうか。

(事務局) 特定事業所排出者とそれ以外の事業者に分けて数値を追うことは可能だが、今の地域脱炭素計画、高石市地球温暖化対策実行計画は環境省から示されている計算方法によって目標値を定めているため、特定事業者が公表している数値については、あくまで参考値として取り扱いたい。

(会 長) 業務部門、家庭部門は、推計手法からすると世帯数と従業員数を元にし、CO2排出量が41%削減されているとの結論を導いているという理解でよいか。

(事務局) 業務部門は大阪府のCO2排出量から第三次産業の業種別の従業員数割をしている。家庭部門についても大阪府の全世帯数と高石市の世帯数から算出している。これらの計算方法により、算出した数字となる。

(会 長) 再生可能エネルギーの導入量は把握できるのか。

(事務局) 把握できる。地域脱炭素計画28ページに、2021年度は8.3MW、2030年度の目標として18.8MW、2050年の目標として51MWとしている。

(会 長) その他意見はありますか。

ないようですので、これで議題(1)を終了いたします。

続きまして、議題(2)「その他」について発言のある方はございませんか。

ないようですので、これで議題(2)を終了いたします。

本日、ご審議いただきます案件については、以上でございます。

(事務局) それでは、以上をもちまして令和6年度第1回高石市環境審議会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

【午前11時50分閉会】

令和6年12月24日

署 名 人

署 名 人